

宮城県渋滞対策連絡協議会の これまでの取組み

これまでの取組み



一般道251箇所、高速道路18箇所

一般道27箇所、高速道路12箇所 解除

残り：一般道224箇所、高速道路6箇所 ※R3.7月現在

(参考)H24年度の主要渋滞箇所の特定フロー

	渋滞多発箇所	特定日に起こる渋滞		高速道路上
	観点① 通常時の断続的な渋滞	観点② 休日・観光期等の特定日における渋滞・速度低下	観点③ 高速道路通行止め時の渋滞・速度低下	観点④ 高速道路の渋滞・速度低下箇所
抽出基準1: 混雑指標による客観的な抽出	<ul style="list-style-type: none"> ●混雑による影響が大きい箇所 <ul style="list-style-type: none"> ・年間総損失時間80万人・時間/年以上 ●ラッシュ時の速度低下が著しい箇所 <ul style="list-style-type: none"> ・特定時間帯に損失時間182.6人・時間/時以上 ・朝(7～9時)、夕(17～19時)に渋滞(走行速度が20km/h以下)が発生 			<ul style="list-style-type: none"> ●お盆や年末年始を中心に著しい渋滞が発生 ●休日に速度低下が発生
抽出基準2: 地域の実情に応じた個別課題箇所の抽出	<ul style="list-style-type: none"> ●交通結节点周辺で著しい渋滞が発生 <ul style="list-style-type: none"> ・駅やバスターミナル周辺において渋滞(走行速度が20km/h以下)が発生 ●踏切の影響で著しい渋滞が発生 <ul style="list-style-type: none"> ・踏切の影響で渋滞(走行速度が20km/h以下)が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ●休日に著しい渋滞が発生 <ul style="list-style-type: none"> ・観光や大型商業施設への買物等により、休日において渋滞(走行速度が20km/h以下)が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ●高速道路通行止めにより著しい渋滞が発生 <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路通行止め時に、平行する一般道路において渋滞(走行速度が20km/h以下)が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ●交通容量が不足していることで混雑する区間



パブリックコメントによる追加箇所(地域の意見)

主要渋滞箇所の特定

渋滞協の進化に向けて

- 本協議会は、各道路管理者や警察、道路利用者等の幅広いメンバーが参画。
- 様々な交通課題へ対応できることを再確認するため、R2年度よりWGを立ち上げ、議論を活性化。

宮城県渋滞対策 連絡協議会

宮城県災害時交通 マネジメント検討会

観光渋滞WG

管内の観光地の交通状況をモニタリングし、関係者が議論(公募型社会実験等も視野に)

(想定)

対象地域の
観光協会の
参加

施設渋滞WG

交通アセスメントとの連動(渋滞予測の審議、大型施設周辺の交通状況のモニタリング等)

施設立地者の
参加

イベント渋滞WG

イベント時の交通マネジメントを関係者が連携(オリパラ輸送計画等)

イベント主催
者の参加

最新技術活用WG

ICT・AI技術等を活用した新たな渋滞対策手法を紹介し、管内への適用検討(民間ビッグデータ、AIカメラ、新たな交差点設計、信号制御等)

学識者、ビッグ
データ会
社等の参加

渋滞協(親会)とWGの運用案

<観光渋滞WG/施設渋滞WG/イベント渋滞WG>

渋滞協(親会)

管内の観光地、大規模施設、大規模イベント等について、交通状況データ(旅行速度)を提示

※各箇所ですべて新たに調査を行うわけではなく、ETC2.0データの活用により、大量の箇所をモニタリング

WG(担当者レベル)

- 具体的に渋滞対策を検討したい事例(観光地、大規模施設、イベント)を抽出
 - 関係する自治体等の担当者が参加し、具体的な交通調査や対策メニュー等について、議論
- ※適宜、観光協会や施設立地者、イベント主催者の参加も調整

<最新技術活用WG>

渋滞協(親会)

学識者や民間企業等のゲストスピーカーを招き、渋滞対策に関する最新技術をご紹介いただく

※概要の紹介まで(15分程度)

WG(担当者レベル)

- 最新技術の導入に関心のある自治体等の担当者が参加
 - 導入に向けて、ディスカッションや詳細調整
- ※ゲストスピーカーの再招待や現地視察等も検討

本日のポイント

1. 宮城県渋滞対策連絡協議会のこれまでの取り組み

⇒R2年度よりWGの立ち上げ(観光渋滞、施設渋滞、イベント渋滞、最新技術活用)

2. 主要渋滞箇所の交通状況モニタリング

⇒コロナ事態下の交通状況分析

3. 観光地、大規模施設、イベント等の交通状況モニタリング

⇒観光渋滞WG(松島地区)、施設渋滞・イベント渋滞WG(利府地区)、管内16箇所のモニタリングデータ

4. 関係者が連携した渋滞対策

⇒道路利用者団体との連携、BRTとの連携、さくらんぼ狩り期の渋滞対策、東京オリ・パラ(宮城大会における渋滞対策)

5. 「ダブルネットワーク速度低下区間」の重点モニタリング(国道4号)

⇒東北道通行止め時の国道4号の渋滞

6. 最近の話題提供

⇒道路交通アセスメント、災害時交通マネジメント

7. 講演

⇒慶応義塾大学理工学部 栗原先生 (AIを活用した交通信号制御の高度化)

(株) Agoop (位置情報ビッグデータの活用)

(株) ナビタイムジャパン (ナビアプリを活用した渋滞対策の可能性)

日本電気(株) (AIカメラやドラレコを活用した渋滞対策)